

時	ねらい	学習活動	評価規準	評価方法	資料および指導・援助
7 大正時代の生活と文化	<p>「水平社宣言」を改めて朗読して「日本の人権宣言」と言われる意味を味わうとともに、民衆が自分たちの生活や権利の向上のために立ち上がった大正時代の生活や人々の考え方などの特色を文化作品などからつかむことを通して、単元のまとめをすることができる。</p>	<p>1 前時の学習を振り返り、「水平社宣言」を朗読して、これが「日本の人権宣言」と言われることを確認する。</p> <p>2 大正時代の市民生活を表す資料から、本時の学習課題を設定する。</p> <p>文化の動きから市民生活の変化について知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校、高等学校、大学、専門学校が増えた。 ・優れた芸術作品が生まれた。(志賀直哉、岸田劉生など) ・ラジオ放送が始まり、新聞が普及した。 ・大衆小説、映画、スポーツなどが大衆の娯楽として普及した。 ・バスガールや電話交換手など働く女性が増えた。 ・関東大震災や財閥による産業支配といった動きもあった。 <p>3 本単元の学習についての思いをまとめる。</p>	<p>イ -</p> <p>大正時代、民衆が立ち上がった理由について、多面的・多角的に考えている。</p>	<p>ノートの記述</p> <p>民衆が立ち上がった理由について多面的・多角的に考えているかを分析する。</p>	<p>「水平社宣言」</p> <p>「東京浅草の映画街」 「ラジオのアナウンサー」 バスガール (以上、教科書)</p> <p>各資料の情報を整理し、事実認識を援助する。</p>
		<p>大正時代は、民衆運動とともに、多くの知識層が増えるとともに、女性を含めて様々な立場の人の社会進出が実現した。こうした日本の人権尊重への歩みは、この大正時代に始まったと言える。いろいろな立場から立ち上がった民衆の願いが、政治に反映され民衆の生活や権利が向上する世の中になっていくといいのだが・・・。</p>			